



CLIを使用する

ONTAP Select

NetApp
February 03, 2026

目次

| | |
|--|----|
| CLIを使用する | 1 |
| SSHを使用してONTAP Select DeployにSign in | 1 |
| CLIを使用してONTAP Selectクラスタを導入する | 1 |
| ステップ1: 展開の準備 | 1 |
| ステップ2: ライセンスファイルをアップロードして登録する | 2 |
| ステップ3: ハイパーバイザーホストを追加する | 3 |
| ステップ4: ONTAP Selectクラスタを作成して設定する | 5 |
| ステップ5: ONTAP Selectノードを構成する | 6 |
| ステップ6: ONTAP Selectノードにストレージを接続する | 8 |
| ステップ7: ONTAP Selectクラスタを導入する | 10 |
| ONTAP Selectの導入をセキュリティで保護する | 11 |
| デプロイ管理者のパスワードを変更する | 11 |
| ONTAP Selectノード間のネットワーク接続を確認する | 11 |
| CLIを使用してONTAP Selectクラスタを管理する | 12 |
| ONTAP Select Deploy 構成データをバックアップします | 12 |
| ONTAP Selectクラスタを削除する | 13 |
| ノードとホスト | 13 |
| ONTAP SelectのVMware ESXi 7.0 以降にアップグレードします | 13 |
| ONTAP Select Deployのホスト管理サーバーを変更する | 18 |
| デプロイユーティリティ | 19 |
| ONTAP Select Deployインスタンスをアップグレードする | 19 |
| ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する | 21 |
| ONTAP Selectイメージをデプロイに追加する | 23 |
| ONTAP SelectイメージをDeployから削除する | 25 |
| 2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする | 26 |

CLIを使用する

SSHを使用してONTAP Select DeployにSign in

SSHを使用してDeploy管理シェルにサインインする必要があります。サインイン後、CLIコマンドを実行してONTAP Selectクラスタを作成し、関連する管理手順を実行できます。

開始する前に

Deploy 管理者 (admin) アカウントの現在のパスワードが必要です。初めてサインインし、vCenter を使用して Deploy 仮想マシンをインストールした場合は、インストール時に設定したパスワードを使用してください。

手順

1. 管理者アカウントとデプロイ仮想マシンの管理 IP アドレスを使用してSign in。例:

```
ssh admin@<10.235.82.22>
```

2. 初めてサインインする場合、vCenter で使用可能なウィザードを使用して Deploy をインストールしていない場合は、プロンプトが表示されたら次の構成情報を入力します。
 - 管理者アカウントの新しいパスワード（必須）
 - 会社名（必須）
 - プロキシURL（オプション）
3. ?と入力して **Enter** を押すと、使用可能な管理シェル コマンドのリストが表示されます。

CLIを使用してONTAP Selectクラスタを導入する

ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティに付属のコマンドラインインターフェイスを使用して、単一ノードまたは複数ノードのONTAP Selectクラスタを作成できます。

ステップ1: 展開の準備

ハイパーバイザー上にONTAP Selectクラスタを作成する前に、必要な準備を理解しておく必要があります。

手順

1. ONTAP Selectノードにストレージを接続する準備

ハードウェアRAID

ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用する場合は、少なくとも1つのデータストア (ESX) または1つの["ストレージプール \(KVM\)"](#) 各ノードでは、システム データだけでなく、ルートとデータ アグリゲートも保存されます。ONTAP Selectノードの設定の一環として、ストレージプールを接続する必要があります。

ソフトウェアRAID

ソフトウェアRAIDを使用する場合は、少なくとも1つのデータストア (ESX) または1つの["ストレージプール \(KVM\)"](#) システム データ用であり、ルートおよびデータ アグリゲート用に SSD ドライブが使用可能であることを確認します。ONTAP Selectノードの設定の一環として、ストレージプールとディスクを接続する必要があります。

2. 利用可能なONTAP Selectバージョン

Deploy管理ユーティリティには、ONTAP Selectの単一バージョンが含まれています。以前のバージョンのONTAP Selectを使用してクラスタを導入する場合は、まず["ONTAP Selectイメージを追加する"](#)デプロイインスタンスに追加します。

3. 本番環境導入用のONTAP Selectのライセンス

ONTAP Selectクラスタを本番環境に導入する前に、ストレージ容量ライセンスを購入し、関連するライセンスファイルをダウンロードする必要あなたはできる["各ノードのストレージにライセンスを付与する"](#) Capacity Tiers モデルを使用するか、Capacity Pools モデルを使用して共有プールのライセンスを取得します。

ステップ2: ライセンスファイルをアップロードして登録する

ストレージ容量付きのライセンス ファイルを取得したら、ライセンスを含むファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードして登録する必要があります。



評価目的でのみクラスターをデプロイする場合は、この手順をスキップできます。

開始する前に

管理者ユーザー アカウントのパスワードが必要です。

手順

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、sftp ユーティリティを使用して、ライセンス ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

出力例

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put NLF-320000nnn.txt
exit
```

2. SSH を使用して、管理者アカウントで Deploy ユーティリティ CLI にSign in。

3. ライセンスを登録します。

```
license add -file-name <file_name>
```

プロンプトが表示されたら、管理者アカウントのパスワードを入力します。

4. システム内のライセンスを表示して、ライセンスが正しく追加されたことを確認します。

```
license show
```

ステップ3: ハイパーバイザーホストを追加する

ONTAP Selectノードが実行される各ハイパーバイザー ホストを登録する必要があります。

KVM

ONTAP Selectノードを実行するハイパーバイザーホストを登録する必要があります。その一環として、Deploy管理ユーティリティはKVMホストに対して認証を行います。

タスク概要

複数のハイパーバイザーホストが必要な場合は、この手順を使用して各ホストを追加します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイユーティリティ CLI にSign in。
2. ホストを登録します。

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type KVM -username  
<KVM_username>
```

出力例

```
host register -name 10.234.81.14 -hypervisor-type KVM -username root
```

プロンプトが表示されたら、ホストアカウントのパスワードを入力します。

3. ホストの状態を表示し、認証されていることを確認します。

```
host show -name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例

```
host show -name 10.234.81.14 -detailed
```

ESXi

この一環として、デプロイ管理ユーティリティは、ホストを管理する vCenter サーバーに対して認証するか、ESXi スタンドアロンホストに対して直接認証します。

タスク概要

vCenter で管理されているホストを登録する前に、vCenter Server の管理サーバーアカウントを追加する必要があります。ホストが vCenter で管理されていない場合は、ホストの登録時にホストの認証情報を提供できます。各ホストを追加するには、この手順を使用してください。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイユーティリティ CLI にSign in。
2. ホストが vCenter サーバーによって管理されている場合は、vCenter アカウントの資格情報を追加します。

```
credential add -hostname <FQDN|IP> -type vcenter -username  
<vcenter_username>
```

出力例

```
credential add -hostname vc.select.company-demo.com -type vcenter  
-username administrator@vsphere.local
```

3. ホストを登録します。

- vCenter によって管理されていないスタンドアロン ホストを登録します。

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type ESX -username  
<esx_username>
```

- vCenter によって管理されるホストを登録します。

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type ESX -mgmt-server  
<FQDN|IP>
```

出力例

```
host register -name 10.234.81.14 -hypervisor-type ESX -mgmt-server  
vc.select.company-demo.com
```

4. ホストの状態を表示し、認証されていることを確認します。

```
host show -name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例

```
host show -name 10.234.81.14 -detailed
```

ステップ4: ONTAP Selectクラスタを作成して設定する

ONTAP Selectクラスタを作成して設定する必要があります。クラスタの設定が完了したら、個々のノードを設定できます。

開始する前に

クラスターに含まれるノードの数を決定し、関連する構成情報を取得します。

タスク概要

ONTAP Selectクラスタを作成すると、指定したクラスタ名とノード数に基づいて、Deployユーティリティによってノード名が自動的に生成されます。また、Deployは一意のノード識別子も生成します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. クラスタを作成します。

```
cluster create -name <cluster_name> -node-count <count>
```

出力例

```
cluster create -name test-cluster -node-count 1
```

3. クラスターを構成します。

```
cluster modify -name <cluster_name> -mgmt-ip <IP_address> -netmask  
<netmask> -gateway <IP_address> -dns-servers <FQDN|IP>_LIST -dns-domains  
<domain_list>
```

出力例

```
cluster modify -name test-cluster -mgmt-ip 10.234.81.20 -netmask  
255.255.255.192  
-gateway 10.234.81.1 -dns-servers 10.221.220.10 -dnsdomains  
select.company-demo.com
```

4. クラスターの構成と状態を表示します。

```
cluster show -name <cluster_name> -detailed
```

ステップ5: ONTAP Selectノードを構成する

ONTAP Selectクラスタ内の各ノードを設定する必要があります。

開始する前に

- ・ノードの構成情報があることを確認します。

- 容量層または容量プールのライセンス ファイルが、展開ユーティリティでアップロードされ、インストールされていることを確認します。

タスク概要

各ノードを設定するには、この手順に従う必要があります。この例では、ノードにCapacity Tierライセンスが適用されています。

手順

- 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
- クラスター ノードに割り当てられた名前を決定します。

```
node show -cluster-name <cluster_name>
```

- ノードを選択し、基本設定を実行します。

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -host-name
<FQDN|IP> -license-serial-number <number> -instance-type TYPE
-passthrough-disks false
```

出力例

```
node modify -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -host-name
10.234.81.14
-license-serial-number 32000nnnn -instance-type small -passthrough
-disks false
```

ノードのRAID構成は、_passthrough-disks_ パラメータで指定します。ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用している場合は、この値は「false」にする必要があります。ソフトウェアRAIDを使用している場合は、この値は「true」にする必要があります。

ONTAP Selectノードには、Capacity Tier ライセンスが使用されます。

- ホストで利用可能なネットワーク構成を表示します。

```
host network show -host-name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例

```
host network show -host-name 10.234.81.14 -detailed
```

- ノードのネットワーク構成を実行します。

ESXi ホスト

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -mgmt-ip  
IP -management-networks <network_name> -data-networks <network_name>  
-internal-network <network_name>
```

KVMホスト

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -mgmt-ip  
IP -management-vlans <vlan_id> -data-vlans <vlan_id> -internal-vlans  
<vlad_id>
```

単一ノード クラスターを展開する場合は、内部ネットワークは必要ないため、「-internal-network」を削除する必要があります。

出力例

```
node modify -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -mgmt-ip  
10.234.81.21  
-management-networks sDOT_Network -data-networks sDOT_Network
```

6. ノードの構成を表示します。

```
node show -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -detailed
```

出力例

```
node show -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -detailed
```

ステップ6: ONTAP Selectノードにストレージを接続する

ONTAP Selectクラスタ内の各ノードで使用するストレージを設定します。各ノードには、必ず少なくとも1つのストレージプールを割り当てる必要があります。ソフトウェアRAIDを使用する場合は、各ノードに少なくとも1つのディスクドライブも割り当てる必要があります。

開始する前に

VMware vSphere を使用してストレージプールを作成します。ソフトウェア RAID を使用する場合は、少なくとも 1 つの使用可能なディスクドライブも必要です。

タスク概要

ローカル ハードウェア RAID コントローラを使用する場合は、手順 1 ~ 4 を実行する必要があります。ソフトウェア RAID を使用する場合は、手順 1 ~ 6 を実行する必要があります。

手順

- 管理者アカウントの資格情報を使用して SSH でデプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
- ホストで使用可能なストレージ プールを表示します。

```
host storage pool show -host-name <FQDN|IP>
```

出力例

```
host storage pool show -host-name 10.234.81.14
```

VMware vSphere を通じて利用可能なストレージ プールを取得することもできます。

- 使用可能なストレージ プールをONTAP Selectノードに接続します。

```
node storage pool attach -name <pool_name> -cluster-name <cluster_name>
-node-name <node_name> -capacity-limit <limit>
```

「-capacity-limit」 パラメータを含める場合は、値を GB または TB で指定します。

出力例

```
node storage pool attach -name sDOT-02 -cluster-name test-cluster -
-node-name test-cluster-01 -capacity-limit 500GB
```

- ノードに接続されているストレージ プールを表示します。

```
node storage pool show -cluster-name <cluster_name> -node-name
<node_name>
```

出力例

```
node storage pool show -cluster-name test-cluster -node-name
testcluster-01
```

- ソフトウェア RAID を使用している場合は、使用可能なドライブを接続します。

```
node storage disk attach -node-name <node_name> -cluster-name
<cluster_name> -disks <list_of_drives>
```

出力例

```
node storage disk attach -node-name NVME_SN-01 -cluster-name NVME_SN  
-disks 0000:66:00.0 0000:67:00.0 0000:68:00.0
```

6. ソフトウェア RAID を使用している場合は、ノードに接続されているディスクを表示します。

```
node storage disk show -node-name <node_name> -cluster-name  
<cluster_name>
```

出力例

```
node storage disk show -node-name sd0t-smicro-009a -cluster-name NVME
```

ステップ7: ONTAP Selectクラスタを導入する

クラスターとノードが構成されたら、クラスターをデプロイできます。

開始する前に

ネットワーク接続チェッカーを実行するには、["ウェブUI"](#)または["CLI"](#)内部ネットワーク上のクラスター ノード間の接続を確認します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. ONTAP Selectクラスタをデプロイします。

```
cluster deploy -name <cluster_name>
```

出力例

```
cluster deploy -name test-cluster
```

プロンプトが表示されたら、ONTAP管理者アカウントに使用するパスワードを入力します。

3. クラスターのステータスを表示して、正常にデプロイされたかどうかを確認します。

```
cluster show -name <cluster_name>
```

次の手順

["ONTAP Select Deploy 構成データをバックアップします"。](#)

ONTAP Selectの導入をセキュリティで保護する

ONTAP Select の導入を保護する一環として実行できる関連タスクがいくつかあります。

デプロイ管理者のパスワードを変更する

必要に応じて、コマンド ライン インターフェイスを使用して、Deploy 仮想マシン管理者アカウントのパスワードを変更できます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. パスワードを変更します:
`password modify`
3. 環境に応じて、すべてのプロンプトに応答します。

ONTAP Selectノード間のネットワーク接続を確認する

内部クラスタネットワーク上の2つ以上のONTAP Selectノード間のネットワーク接続をテストできます。通常、このテストはマルチノードクラスタを導入する前に実行し、操作の失敗につながる可能性のある問題を検出します。

開始する前に

テストに含まれるすべてのONTAP Selectノードが設定され、電源がオンになっている必要があります。

タスク概要

テストを開始するたびに、バックグラウンドで新しいプロセス実行が作成され、一意の実行IDが割り当てられます。一度にアクティブにできる実行は1つだけです。

テストには、その動作を制御する2つのモードがあります。

- ・ クイック このモードでは、基本的な無停止テストを実行します。PINGテストに加え、ネットワークMTU サイズとvSwitchのテストも実行されます。
- ・ 拡張モード：このモードでは、すべての冗長ネットワークパスに対してより包括的なテストを実行します。アクティブなONTAP Selectクラスタでこのテストを実行すると、クラスタのパフォーマンスに影響が出る可能性があります。



マルチノードクラスタを作成する前に、必ずクイックテストを実行することをお勧めします。クイックテストが正常に完了したら、必要に応じて、本番環境の要件に基づいて拡張テストを実行できます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. ネットワーク接続チェッカーの現在の実行を表示し、アクティブな実行がないことを確認します。

```
network connectivity-check show
```

3. ネットワーク接続チェッカーを起動し、コマンド出力の実行 ID をメモします。

```
network connectivity-check start -host-names HOSTNAMES -vswitch-type  
VSWITCH_TYPE-mode MODE
```

例

```
network connectivity-check start -host-names 10.234.81.14  
10.234.81.15 -vswitch-type StandardVSwitch -mode quick
```

4. 実行 ID に基づいてネットワーク接続チェッカーの進行状況を監視します。

```
network connectivity-check show -run-id RUN_ID
```

終了後の操作

ネットワーク接続チェッカーは通常、ONTAP-Internal ポートグループに追加された一時ポートとIPアドレスを削除することでクリーンアップを行います。ただし、接続チェッカーが一時ポートの削除に失敗した場合は、CLIコマンドをオプション付きで再実行して手動でクリーンアップ操作を実行する必要があります。
-mode cleanup。ONTAP内部ポート グループから一時ポートを削除しないと、ONTAP Select仮想マシンが正常に作成されない可能性があります。

CLIを使用してONTAP Selectクラスタを管理する

CLIを使用してONTAP Selectクラスタを管理するために実行できる関連タスクがいくつかあります。

ONTAP Select Deploy 構成データをバックアップします

たとえば、クラスタを展開した後などのONTAP Select Deploy 構成データのバックアップ。データは単一の暗号化ファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

作成するバックアップ ファイルには、すべての構成データがキャプチャされます。このデータは、ONTAP Selectクラスタを含む導入環境のさまざまな側面を表します。

開始する前に

バックアップ操作中に Deploy が他のタスクを実行していないことを確認してください。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用してONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI にSign in。
2. ONTAP Select Deploy サーバの内部ディレクトリに保存されているONTAP Select Deploy 構成データのバックアップを作成します。

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップのパスワードを入力します。

バックアップ ファイルはパスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで利用可能なバックアップを表示します。

```
deploy backup show -detailed
```

5. 作成*フィールドの日付に基づいてバックアップ ファイルを選択し、*ダウンロード URL の値を記録します。

URL を通じてバックアップ ファイルにアクセスできます。

6. Web ブラウザまたはCurlなどのユーティリティを使用して、URL を指定してバックアップ ファイルをローカル ワークステーションにダウンロードします。

ONTAP Selectクラスタを削除する

不要になったONTAP Selectクラスタは削除できます。

開始する前に

クラスターはオフライン状態である必要があります。

手順

1. 管理者アカウントを使用して仮想マシンのデプロイ CLI にSign in。
2. クラスターのステータスを表示します。

```
cluster show -name <cluster_name>
```

3. クラスターがオフラインでない場合は、オフライン状態に移行します。

```
cluster offline -name <cluster_name>
```

4. クラスターがオフライン状態であることを確認した後、クラスターを削除します。

```
cluster delete -name <cluster_name>
```

ノードとホスト

ONTAP Selectの VMware ESXi 7.0 以降にアップグレードします

ONTAP SelectをVMware ESXi上で実行している場合は、ESXiソフトウェアを以前のサポート対象バージョンからESXi 7.0以降にアップグレードできます。アップグレードする前に、プロセスを理解し、適切なアップグレード手順を選択してください。

VMware ESXi のアップグレードの準備

ONTAP Selectクラスタをホストしているハイパーバイザー上の ESXi ソフトウェアをアップグレードする前に、環境に適したアップグレード手順を準備して選択します。

手順

1. VMware ESXi のアップグレード方法を理解する

ESXiソフトウェアのアップグレードは、VMwareによって規定およびサポートされているプロセスです。ハイパーバイザーのアップグレードプロセスは、ONTAP Selectを使用する場合のより大規模なアップグレード手順の一部です。詳細については、VMwareのドキュメントを参照してください。

2. アップグレード手順を選択してください

アップグレード手順は複数あります。以下の基準に基づいて適切な手順を選択してください。

- ONTAP Selectクラスタ サイズ シングルノード クラスタとマルチノード クラスタの両方がサポートされます。
- ONTAP Select Deployの使用

アップグレードは、デプロイユーティリティの有無にかかわらず可能です。



デプロイ管理ユーティリティを使用するアップグレード手順を選択する必要があります。

Deploy管理ユーティリティを使用してESXiのアップグレードを実行する方が、より汎用的で復元力の高いオプションです。ただし、デプロイが利用できない、または使用できない場合があります。例えば、ESXi 7.0へのアップグレードは、以前のバージョンのONTAP SelectおよびDeploy管理ユーティリティではサポートされていません。

これらの以前のバージョンを使用してアップグレードを試みると、ONTAP Select仮想マシンが起動できない状態になる可能性があります。この場合、Deployを使用しないアップグレード手順を選択する必要があります。参照["1172198"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。

3. デプロイ管理ユーティリティをアップグレードする

Deploy ユーティリティを使用してアップグレード手順を実行する前に、Deploy インスタンスをアップグレードする必要がある場合があります。通常は、最新バージョンのDeployにアップグレードしてください。Deployユーティリティは、使用しているONTAP Selectのバージョンをサポートしている必要があります。参照["ONTAP Selectリリースノート"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。

4. アップデート手順が完了したら

Deployユーティリティを使用したアップグレード手順を選択した場合は、すべてのノードのアップグレードが完了した後、Deployを使用してクラスタの更新操作を実行する必要があります。詳細については、「Deployクラスタ構成の更新」を参照してください。

Deploy を使用して單一ノード クラスタをアップグレードする

ONTAP Selectシングルノード クラスタをホストしている VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードする手順の一部として、Deploy 管理ユーティリティを使用できます。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. ノードをオフライン状態に移動します。

```
node stop --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 7.0 以降にアップグレードします。
4. ノードをオンライン状態に移動します。

```
node start --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

5. ノードが起動したら、クラスターが正常であることを確認します。

例：

```
ESX-1N::> cluster show
Node          Health  Eligibility
-----  -----
sdot-d200-011d  true    true
```

終了後の操作

デプロイ管理ユーティリティを使用してクラスターの更新操作を実行する必要があります。

デプロイを使用してマルチノードクラスタをアップグレードする

ONTAP Selectマルチノード クラスタをホストしている VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードする手順の一部として、Deploy 管理ユーティリティを使用できます。

タスク概要

このアップグレード手順は、クラスタ内の各ノードに対して、一度に1ノードずつ実行する必要があります。クラスタに4つ以上のノードが含まれている場合は、各HAペアのノードを順番にアップグレードしてから、次のHAペアに進む必要があります。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. ノードをオフライン状態に移動します。

```
node stop --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 7.0 以降にアップグレードします。

詳細については、「VMware ESXi のアップグレードの準備」を参照してください。

- ノードをオンライン状態に移動します。

```
node start --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

- ノードが起動したら、ストレージ フェイルオーバーが有効になっており、クラスターが正常であることを確認します。

例を表示

```
ESX-2N_I2_N11N12::> storage failover show
Takeover
Node Partner Possible State Description
-----
sdot-d200-011d sdot-d200-012d true Connected to sdot-d200-012d
sdot-d200-012d sdot-d200-011d true Connected to sdot-d200-011d
2 entries were displayed.
ESX-2N_I2_N11N12::> cluster show
Node Health Eligibility
-----
sdot-d200-011d true true
sdot-d200-012d true true
2 entries were displayed.
```

終了後の操作

ONTAP Selectクラスタで使用されるホストごとにアップグレード手順を実行する必要があります。すべてのESXiホストのアップグレードが完了したら、Deploy管理ユーティリティを使用してクラスタの更新操作を実行する必要があります。

Deployなしで単一ノード クラスタをアップグレードする

Deploy管理ユーティリティを使用せずに、ONTAP Selectシングルノード クラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードできます。

手順

- ONTAPコマンドラインインターフェイスにSign in、ノードを停止します。
- VMware vSphere を使用して、ONTAP Select仮想マシンの電源がオフになっていることを確認します。
- VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 7.0 以降にアップグレードします。

詳細については、「VMware ESXi のアップグレードの準備」を参照してください。

- VMware vSphere を使用して vCenter にアクセスし、次の操作を行います。

- a. ONTAP Select仮想マシンにフロッピードライブを追加します。
 - b. ONTAP Select仮想マシンの電源をオンにします。
 - c. 管理者アカウントで SSH を使用してONTAP CLI にSign in。
5. ノードが起動したら、クラスターが正常であることを確認します。

例：

```
ESX-1N::> cluster show
Node          Health  Eligibility
-----
sdot-d200-011d  true    true
```

終了後の操作

デプロイ管理ユーティリティを使用してクラスターの更新操作を実行する必要があります。

Deploy なしでマルチノード クラスタをアップグレードする

Deploy 管理ユーティリティを使用せずに、ONTAP Selectマルチノード クラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードできます。

タスク概要

このアップグレード手順は、クラスタ内の各ノードに対して、一度に1ノードずつ実行する必要があります。クラスタに4つ以上のノードが含まれている場合は、各HAペアのノードを順番にアップグレードしてから、次のHAペアに進む必要があります。

手順

1. ONTAPコマンドラインインターフェイスにSign in、ノードを停止します。
2. VMware vSphere を使用して、ONTAP Select仮想マシンの電源がオフになっていることを確認します。
3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 7.0 以降にアップグレードします。
4. VMware vSphere を使用して vCenter にアクセスし、次の操作を行います。
 - a. ONTAP Select仮想マシンにフロッピードライブを追加します。
 - b. ONTAP Select仮想マシンの電源をオンにします。
 - c. 管理者アカウントで SSH を使用してONTAP CLI にSign in。
5. ノードが起動したら、ストレージ フェイルオーバーが有効になっており、クラスターが正常であることを確認します。

例を表示

```
ESX-2N_I2_N11N12::> storage failover show
Takeover
Node Partner Possible State Description
-----
sdot-d200-011d sdot-d200-012d true Connected to sdot-d200-012d
sdot-d200-012d sdot-d200-011d true Connected to sdot-d200-011d
2 entries were displayed.
ESX-2N_I2_N11N12::> cluster show
Node Health Eligibility
-----
sdot-d200-011d true true
sdot-d200-012d true true
2 entries were displayed.
```

終了後の操作

ONTAP Selectクラスタで使用されるホストごとにアップグレード手順を実行する必要があります。

ONTAP Select Deployのホスト管理サーバーを変更する

使用することができます`host modify`ONTAP Select Deploy のこのインスタンスを使用してホスト管理サーバーを変更するコマンド。

構文

```
host modify [-help] [-foreground] -name name -mgmt-server management_server [-username username]
```

必須パラメータ

| パラメータ | 説明 |
|--|---|
| -name <i>name</i> | 変更するホストの IP アドレスまたは FQDN。 |
| -mgmt-server <i>management_server</i> | ホストに設定するホスト管理サーバーのIPアドレスまたはFQDN。ホストから管理サーバーの設定を解除するには、「-」(ハイフン) を指定します。このホストを登録する前に、この管理サーバーの資格情報を追加する必要があります。`credential add`指示。 |

オプションのパラメータ

| パラメータ | 説明 |
|-------|----|
|-------|----|

| | |
|---------------------------|--|
| -help | ヘルプ メッセージを表示します。 |
| -foreground | このパラメータは、長時間実行されるコマンドの動作を制御します。設定されている場合、コマンドはフォアグラウンドで実行され、操作に関連するイベントメッセージは発生時に表示されます。 |
| -username <i>username</i> | このホストにアクセスできるユーザー名。これは、ホストが管理サーバーによって管理されていない場合（つまり、vCenterによって管理されているESXホストの場合）のみ必要です。 |

デプロイユーティリティ

ONTAP Select Deployインスタンスをアップグレードする

ONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI を使用して、既存の ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンをインプレースでアップグレードできます。

開始する前に

アップグレード中は、ONTAP Select Deployを他のタスクの実行に使用しないでください。ONTAP Select Deployユーティリティのアップグレードに関する情報と制限事項については、最新のリリースノートを参照してください。

ONTAP Select Deploy管理ユーティリティの古いインスタンスがインストールされている場合は、最新リリースにアップグレードする必要があります。ONTAPON TAP SelectノードとONTAP Select Deployコンポーネントは個別にアップグレードされます見る["ONTAP Select ノードをアップグレードする"](#)詳細については、こちらをご覧ください。



ONTAP Select Deploy 9.16.1または9.15.1からONTAP Select Deploy 9.17.1に直接アップグレードできます。ONTAP Select Deploy 9.14.1以前からアップグレードする場合は、お使いのONTAP Selectバージョンのリリースノートを確認してください。

ステップ1：パッケージをダウンロードする

アップグレードプロセスを開始するには、["NetAppサポート サイト"](#)から適切なONTAP Select Deploy仮想マシンのアップグレードファイルをダウンロードします。アップグレードパッケージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされます。

手順

1. Web ブラウザを使用して["NetAppサポート サイト"](#)にアクセスし、Downloads メニューから **Downloads** を選択します。
2. 下にスクロールして*ONTAP Select Deploy Upgrade*を選択してください。
3. アップグレード パッケージの目的のリリースを選択します。
4. エンド ユーザー ライセンス契約 (EULA) を確認し、[同意して続行] を選択します。
5. 適切なパッケージを選択してダウンロードし、環境に応じて必要なすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2: ONTAP Select Deploy仮想マシンにパッケージをアップロードする

パッケージをダウンロードしたら、そのファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

タスク概要

このタスクでは、ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードする 1 つの方法について説明します。ご使用の環境に適した他のオプションがある可能性があります。

開始する前に

- ・アップグレード ファイルがローカル ワークステーションで使用可能であることを確認します。
- ・管理者ユーザー アカウントのパスワードがあることを確認します。

手順

1. ローカルワークステーションのコマンドシェルで、`scp` (Secure Copy Protocol) ユーティリティを使用して、次の例に示すように、イメージ ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
scp ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz admin@10.228.162.221:/home/admin  
(provide password when prompted)
```

結果

アップグレード ファイルは、管理者ユーザーのホーム ディレクトリに保存されます。

ステップ3: アップグレードパッケージを適用する

アップグレード ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードしたら、アップグレードを適用できます。

開始する前に

- ・ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンのどのディレクトリにアップグレード ファイルが配置されているかを確認します。
- ・アップグレードの実行中に、ONTAP Select Deploy を使用して他のタスクが実行されていないことを確認します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用してONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI にSign in。
2. 適切なディレクトリ パスとファイル名を使用してアップグレードを実行します。

```
deploy upgrade -package-path <file_path>
```

コマンド例:

```
deploy upgrade -package-path /home/admin/ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz
```

終了後の操作

アップグレード手順が完了する前に、ONTAP Select Deploy 仮想マシン構成のバックアップを作成するよう求められます。また、新しく作成されたONTAP Select Deploy ページを表示できるように、ブラウザのキャッシュをクリアする必要があります。

ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する

コマンドライン インターフェイスを使用して、Deploy 管理ユーティリティの既存のインスタンスを新しい仮想マシンに移行できます。

この手順は、元の仮想マシンの構成データを使用して新しい仮想マシンを作成することを前提としています。新しい仮想マシンと元の仮想マシンは、同じバージョンとリリースのDeployユーティリティを実行する必要があります。異なるバージョンとリリースのDeployユーティリティに移行することはできません。

ステップ1: デプロイ構成データをバックアップする

仮想マシンの移行の一環として、Deploy構成データのバックアップを作成する必要があります。また、ONTAP Selectクラスタの導入後にもバックアップを作成する必要があります。データは単一の暗号化ファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

開始する前に

- バックアップ操作中に Deploy が他のタスクを実行していないことを確認してください。
- 元のデプロイ仮想マシン イメージを保存します。



元の Deploy 仮想マシン イメージは、この手順の後半で、元の仮想マシンから新しい仮想マシンに Deploy 構成データを復元するときに必要になります。

タスク概要

作成するバックアップファイルには、仮想マシンのすべての構成データが保存されます。このデータは、ONTAP Selectクラスタを含む導入環境のさまざまな側面を表します。

手順

- 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
- デプロイ サーバーの内部ディレクトリに保存されているデプロイ構成データのバックアップを作成します。

```
deploy backup create
```

- プロンプトが表示されたら、バックアップのパスワードを入力します。

バックアップ ファイルはパスワードに基づいて暗号化されます。

- システムで利用可能なバックアップを表示します。

```
deploy backup show -detailed
```

5. 作成*フィールドの日付に基づいてバックアップ ファイルを選択し、*ダウンロード URL の値を記録します。

URL を通じてバックアップ ファイルにアクセスできます。

6. Web ブラウザまたは Curl などのユーティリティを使用して、URL を指定してバックアップ ファイルをローカル ワークステーションにダウンロードします。

ステップ2: Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールする

元の仮想マシンの構成データを使用して更新できる、デプロイ仮想マシンの新しいインスタンスを作成する必要があります。

開始する前に

VMware 環境でONTAP Select Deploy 仮想マシンをダウンロードして展開する手順を理解している必要があります。

タスク概要

このタスクは高レベルで説明されています。

手順

1. デプロイ仮想マシンの新しいインスタンスを作成します。
 - a. 仮想マシンイメージをダウンロードします。
 - b. 仮想マシンをデプロイし、ネットワーク インターフェイスを構成します。
 - c. SSH を使用してデプロイ ユーティリティにアクセスします。

関連情報

["ONTAP Select Deploy をインストールする"](#)

ステップ3: デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する

元のDeployユーティリティ仮想マシンから新しい仮想マシンに構成データを復元する必要があります。データは1つのファイルに保存されており、ローカルワークステーションからアップロードする必要があります。

開始する前に

以前のバックアップからの設定データが必要です。データは単一のファイルにまとめられており、ローカルワークステーション上で利用できる必要があります。

手順

1. 次の例に示すように、ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、sftp ユーティリティを使用して、バックアップ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put deploy_backup_20190601162151.tar.gz
exit
```

2. 管理者アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。

3. 構成データを復元します。

```
deploy backup restore -path <path_name> -filename <file_name>
```

コマンドの例

```
deploy backup restore -path /home/admin -filename  
deploy_backup_20180601162151.tar.gz
```

ONTAP Selectイメージをデプロイに追加する

ONTAP Select イメージを Deploy 管理ユーティリティのインスタンスに追加できます。イメージをインストールしたら、ONTAP Select クラスタの導入時に使用できます。

開始する前に

新しいONTAP Selectイメージを Deploy に追加する前に、まず不要なイメージを削除する必要があります。



Deployユーティリティのインスタンスに含まれている元のバージョンよりも前のバージョンのONTAP Selectイメージのみを追加してください。NetAppNetApp提供される新しいバージョンのONTAP Selectを追加することは、サポートされていない構成です。

ステップ1: インストールイメージをダウンロードする

ONTAP SelectイメージをDeployユーティリティのインスタンスに追加するプロセスを開始するには、NetAppサポートサイトからインストールイメージをダウンロードする必要があります。ONTAPONTAP Selectインストールイメージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされています。

手順

1. Webブラウザを使用してNetApp Support Siteにアクセスし、*Support Quick Links*を選択します。
2. **Top Tasks** の下にある **Download Software** を選択し、サイトに Sign in します。
3. *製品を探す*を選択します。
4. 下にスクロールして*ONTAP Select*を選択してください。
5. **Other Available Select Software** で、**Deploy Upgrade**、**Node Upgrade**、**Image Install** を選択します。
6. アップグレード パッケージの目的のリリースを選択します。
7. エンドユーザー ライセンス契約 (EULA) を確認し、*Accept & Continue*をクリックします。
8. 適切なパッケージを選択してダウンロードし、環境に応じて必要なすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2: インストールイメージをデプロイにアップロードする

ONTAP Selectインストール イメージを取得したら、そのファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

開始する前に

ローカル ワークステーションにインストール イメージ ファイルを用意しておく必要があります。Deploy 管

理者ユーザー アカウントのパスワードも必要です。

タスク概要

このタスクでは、Deploy仮想マシンにファイルをアップロードする方法の一つを説明します。環境によっては、より適切な他の方法がある場合があります。

手順

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、次の例に示すように、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
scp image_v_93_install_esx.tgz admin@10.234.81.101:/home/admin (provide password when prompted)
```

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put image_v_93_install_esx.tgz
exit
```

結果

ノードインストールファイルは、管理者ユーザーのホームディレクトリに保存されます。

ステップ3: インストールイメージを追加する

新しいクラスタを展開するときに使用できるように、ONTAP Selectインストールイメージを Deploy イメージ ディレクトリに追加します。

開始する前に

インストールイメージファイルがDeployユーティリティ仮想マシンのどのディレクトリに配置されているかを確認する必要があります。ファイルは管理者のホームディレクトリにあるものと想定されます。

手順

1. 管理者 (admin) アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. Bash シェルを起動します。

```
shell bash
```

1. 次の例に示すように、インストール イメージ ファイルを images ディレクトリに配置します。

```
tar -xf image_v_93_install_esx.tgz -C /opt/netapp/images/
```

ステップ4: 利用可能なインストールイメージを表示する

新しいクラスタを展開するときに使用できるONTAP Selectイメージを表示します。

手順

1. デプロイ ユーティリティ仮想マシンのオンラインドキュメント Web ページにアクセスし、管理者 (admin) アカウントを使用してサインインします。

`http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui`

デプロイ仮想マシンのドメイン名または IP アドレスを使用します。

2. ページの下部に移動して デプロイ を選択し、次に **GET /images** を選択します。
3. 利用可能なONTAP Selectイメージを表示するには、「試してみる」を選択します。
4. 希望する画像が利用可能であることを確認します。

ONTAP SelectイメージをDeployから削除する

ONTAP Selectイメージが不要になったら、Deploy 管理ユーティリティのインスタンスから削除できます。



クラスタで使用されているONTAP Selectイメージは削除しないでください。

タスク概要

現在クラスタで使用されていない、または将来のクラスタ展開で使用する予定のない古いONTAP Selectイメージを削除できます。

手順

1. 管理者 (admin) アカウントで SSH を使用して、デプロイ ユーティリティ CLI にSign in。
2. Deploy によって管理されているクラスタを表示し、使用中のONTAPイメージを記録します。

```
cluster show
```

それぞれのバージョン番号とハイパーテザー プラットフォームに注意してください。

3. Bash シェルを起動します。

```
shell bash
```

4. 利用可能なすべてのONTAP Selectイメージを表示します。

```
ls -lh /opt/netapp/images
```

5. 必要に応じて、ハイパーテザー ホストからONTAP Selectイメージを削除します。

ESXiの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-vidconsole-esx.ova
```

KVMの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-serialconsole-kvm.raw.tar
```

2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする

ONTAP Select Deployユーティリティに障害が発生したり、何らかの理由で使用できなくなったりした場合、ONTAP Selectノードおよびクラスタを管理できなくなります。さらに、Deployに含まれるメディエーターサービスが利用できなくなるため、すべての2ノードクラスタでHA機能が失われます。回復不能な障害が発生した場合は、管理機能とHA機能を復元するために、Deployユーティリティインスタンスをリカバリする必要があります。

デプロイユーティリティの回復の準備

デプロイユーティリティのインスタンスの回復を確実に成功させるには、その前に準備を行う必要があります。いくつかの管理手順に精通し、必要な情報を把握している必要があります。

手順

1. ハイパーバイザー環境にONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスをインストールできることを確認します。
["ONTAP Select Deployユーティリティのインストールについて学習します"](#)
2. ONTAP Selectクラスタにログインし、ONTAPクラスタ シェル(CLI)にアクセスできることを確認します。
3. ONTAP Select 2ノードクラスタを含む、障害が発生した Deployユーティリティインスタンスからの構成データのバックアップがあるかどうかを確認します。クラスタが含まれていないバックアップがある可能性があります。
4. 使用した回復手順に応じて、デプロイ構成データのバックアップを復元できることを確認します。

"デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する方法について説明します。"

5. 失敗した元の Deployユーティリティ仮想マシンのIPアドレスがわかります。
6. 容量プールまたは容量階層ライセンスが使用されているかどうかを決定します。容量プールライセンスを使用する場合は、デプロイインスタンスを復旧またはリストアした後、各容量プールライセンスを再インストールする必要があります。
7. ONTAP Select Deployユーティリティのインスタンスをリカバリするときに使用する手順を決定します。この決定は、ONTAP Selectの2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeployユーティリティの設定データのバックアップがあるかどうかに基づいて行われます。

| | |
|--|-------------------------------------|
| 2 ノード クラスターを含む Deploy バックアップはありますか？ | 回復手順を使用します... |
| はい | 構成バックアップを使用してデプロイユーティリティインスタンスを復元する |
| いいえ | デプロイユーティリティインスタンスを再構成して回復する |

構成バックアップを使用してデプロイユーティリティインスタンスを復元する

2ノードクラスタを含む、障害が発生したDeployユーティリティインスタンスのバックアップがある場合は、構成データを新しいDeploy仮想マシンインスタンスにリストアできます。その後、ONTAP Selectクラスタ内 の2つのノードに対して追加の設定を行い、リカバリを完了する必要があります。

開始する前に

2ノード クラスターを含む元の失敗したデプロイ仮想マシンから構成データをバックアップします。ノード クラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。

タスク概要

復元する構成バックアップには 2 ノード クラスターが含まれているため、メディエーター iSCSI ターゲットとメールボックスは新しい Deploy ユーティリティ仮想マシンに再作成されます。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。
 - a. 新しい Deploy ユーティリティ仮想マシンをインストールします。
 - b. 以前のバックアップから新しい仮想マシンにデプロイ構成を復元します。

インストールおよび復元手順の詳細については、関連タスクを参照してください。

2. ONTAP Select 2 ノード クラスタのONTAPコマンドライン インターフェイスにSign in。
3. advanced権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、古いメディエーター iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加します。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator  
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

その`<ip_address>`パラメーターは、新しいデプロイ仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドにより、ONTAP Selectノードは新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のメールボックスディスクを検出できるようになります。

5. メディエーター ディスクの名前を決定します。

```
disk show -container-type mediator
```

6. メールボックスディスクを2つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>
```

```
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

7. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

終了後の操作

容量プールライセンスを使用する場合は、各容量プールライセンスを再インストールします。見る"容量プールライセンスを再インストールする"詳細については、こちらをご覧ください。

デプロイユーティリティインスタンスを再構成して回復する

2ノードクラスターを含む、障害が発生したDeployユーティリティインスタンスのバックアップがない場合は、新しいDeploy仮想マシンでメディエーターiSCSIターゲットとメールボックスを構成します。次に、ONTAP Selectクラスタ内の2つのノードの追加構成を実行して、リカバリを完了します。

開始する前に

新しいデプロイユーティリティインスタンスのメディエーター ターゲットの名前があることを確認します。ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。

タスク概要

2ノードクラスタが含まれていない場合でも、必要に応じて構成バックアップを新しいDeploy仮想マシンにリストアできます。リストアでは2ノードクラスタは再作成されないため、DeployのONTAP SelectオンラインドキュメントWebページから、メディエーターiSCSIターゲットとメールボックスを新しいDeployユーティリティインスタンスに手動で追加する必要があります。2ノードクラスタにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。



リカバリ手順の目的は、2 ノード クラスターを正常な状態に復元し、通常の HA テイクオーバーおよびギブバック操作を実行できるようにすることです。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。
 - a. 新しい Deploy ユーティリティ仮想マシンをインストールします。
 - b. 必要に応じて、以前のバックアップから新しい仮想マシンにデプロイ構成を復元します。
- 以前のバックアップを復元した場合、新しいDeployインスタンスには2ノードクラスタは含まれません。インストールと復元の手順の詳細については、関連情報セクションを参照してください。
2. ONTAP Select 2 ノード クラスタのONTAPコマンドラインインターフェイスにSign in。
3. 高度な特権モードに入る:

```
set adv
```

4. メディエーターの iSCSI ターゲット名を取得します。

```
storage iscsi-initiator show -target-type mailbox
```

5. 新しい Deploy ユーティリティ仮想マシンのオンライン ドキュメント Web ページにアクセスし、管理者アカウントを使用してサインインします。

http://<ip_address>/api/ui

デプロイ仮想マシンの IP アドレスを使用する必要があります。

6. **Mediator** を選択し、**GET /mediators** を選択します。
7. *試してみる*を選択すると、Deploy によって管理されるメディエーターのリストが表示されます。必要なメディエーター インスタンスの ID をメモします。
8. **Mediator** を選択し、次に **POST** を選択します。
9. **mediator_id** の値を指定します。
10. 横にある*モデル*を選択してください `iscsi_target` 名前の値を完了します。

iqn_name パラメータにはターゲット名を使用します。

11. 試してみる を選択して、メディエーター iSCSI ターゲットを作成します。

リクエストが成功すると、HTTP ステータス コード 200 が返されます。

12. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンの IP アドレスと異なる場合は、ONTAP CLI を使用して古いメディエータ iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator  
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator-  
target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

その`<ip_address>`パラメーターは、新しいデプロイ仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドにより、ONTAP Selectノードは新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のメールボックスディスクを検出できるようになります。

13. メディエーター ディスクの名前を決定します。

```
disk show -container-type mediator
```

14. メールボックスディスクを2つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>
```

```
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

15. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

終了後の操作

容量プールライセンスを使用する場合は、各容量プールライセンスを再インストールします。見る"容量プールライセンスを再インストールする"詳細については、こちらをご覧ください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。